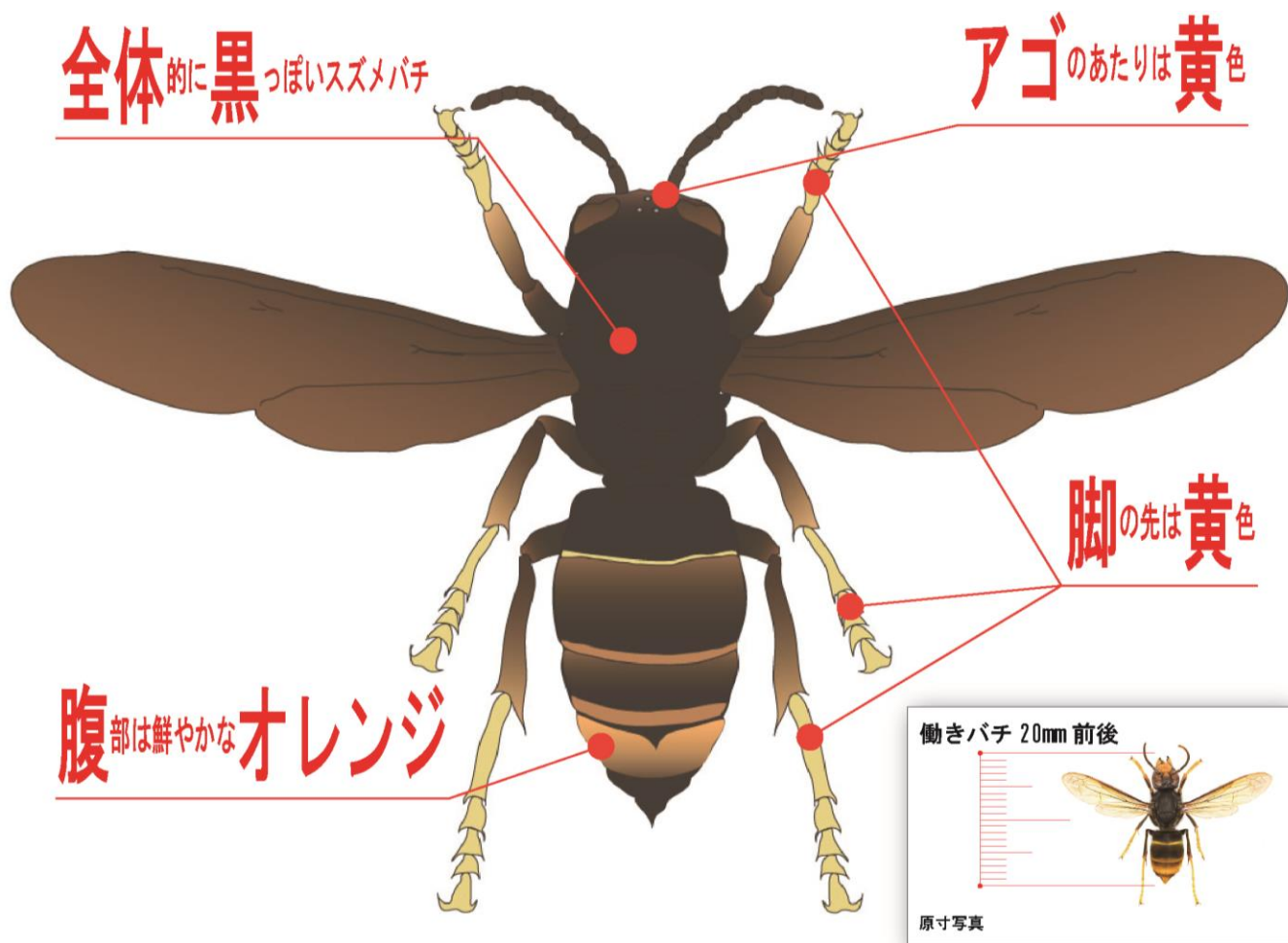


# ツマアカスズメバチ

に注意！！

怪しいハチを見かけたら…

最寄りの市町村、都道府県の環境部局へご連絡を！



- 平成24年に長崎県対馬市で初めて発見された**外来のスズメバチ**です。
- 対馬市で急激に分布を拡大しており、**2019年11月に山口県防府市で営巣が確認されました。**
- **生態系、農産業（特に養蜂業）、人体に被害を及ぼすおそれがあり、警戒が必要です。**

## ■基本情報

### ツマアカスズメバチ

学名：*Vespa velutina*

原産地：中国、台湾、東南アジア  
南アジア

形態：体は全体的に黒っぽく腹部の先端がオレンジ色。  
女王30mm、オス24mm  
働きバチ20mm前後



- 主に昆虫類（ミツバチを含む）を捕食します。
- 樹木の高い位置に営巣することが多いのが特徴です。
- 在来のスズメバチよりも、大きな巣をつくります。
- 長径 1mに達することもあります。

## ■懸念される影響

- 生態系への影響  
在来のスズメバチの減少や捕食される昆虫の減少による生態系のかく乱
- 農林業（養蜂）への影響  
飼育ミツバチへの攻撃、養蜂や受粉への被害
- 人への影響  
在来のスズメバチと同様、人への刺傷被害



環境省 自然環境局 野生生物課  
外来生物対策室  
〒100-8975  
東京都千代田区霞が関1-2-2  
TEL:03-5521-8344 FAX:03-3504-2175

中国四国地方環境事務所 野生生物課  
〒700-0907  
岡山県岡本市北区下石井1丁目4番1号  
岡山第2合同庁舎11階  
TEL:086-223-1561 FAX:086-224-2081